



工藤 隊員



三好 隊員

地域おこし協力隊日記 #17

新年明けましておめでとうございます。協力隊の三好と工藤です。いつも協力隊日記を読んでいただき、ありがとうございます。三好はシーバードフレンドリーの業務を、工藤は生徒募集業務を本年も頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

アイランダー 2022に出展 文：工藤隊員

11月19日(土)と20日(日)、東京都で30回目となるアイランダー2022が開催され、羽幌町役場の方や羽幌町観光協会の方、焼尻島の方などとともに、私と三好もこちらに参加させていただきました。

アイランダーは、国土交通省及び日本離島センターにより、離島地域の活性化を図る目的で行われているイベントです。当日は天売島・焼尻島を紹介するブースを設け、海鳥の柄のクリアファイルや焼尻島のめん羊の毛でできたルームシューズなどの販売、焼尻島のめん羊の毛を使ったクラフト体験、天売島・焼尻島のパンフレットの配布、興味をもってくださった方への島のPRなどを行いました。途中、オロ坊が登場する場面もあり、賑わいました。

来場された方と話してみると、そもそも北海道に離島があることを知らない方も多くいましたが、島の魅力について話すうち、是非来年観光で行ってみたいと言ってくれた方が何人もおり、嬉しかったです。



ふるさと納税で海鳥と人が共生する羽幌町と応援する方々がつながる！ 文：三好隊員



「プロジェクト型ふるさと納税(ガバメントクラウドファンディング:GCF)」を聞いたことがありますか？一般のふるさと納税とは少し異なり、寄付者が市町村の具体的なプロジェクトを応援できる仕組みです。

羽幌町では『海鳥と地域の環境』をまもり『地域の活性化』につなげる“シーバードフレンドリープロジェクト”のGCFを毎年行っています。

地域外の応援人口の促進には、応援者の方々との関係づくりがとても重要です。

そこで10月に、これまで応援くださった方々へ、応援のきっかけや共感点などの意識調査を行いました。11月に行った寄付者3名へのインタビューでは「海鳥も人も大事にする羽幌町のプロジェクトはとても素晴らしい」「長期的に取り組める体制が必要」「SNSでのこまめな発信は地域とつながっている気持ちになれる」といったご意見をいただきました。今後、ご意見も参考に取組んでいきたいと思っております。

羽幌の自然すなっぷ

「雪上のキタキツネ」

もふもふなファーと黒いブーツのコーデがキマってます！



羽幌町地域おこしFacebookもぜひご覧ください！

協力隊の活動や日々の出来事を発信していきます。

登録はこちらから →

